

平成27年度・28年度  
鹿児島県租税教育研究会

# 租税教育の実際



平成28年11月25日（金）  
指宿市立西指宿中学校

## 目次

1	はじめに	1
	(1) 指宿市立西指宿中学校の概要	2
	(2) 学校・生徒の実態	2
2	研究の概要	3
	(1) 研究主題	3
	(2) 主題設定の理由	3
	(3) 研究の目標	3
	(4) 研究組織	3
	(5) 租税教育の全体計画	4
	(6) 研究の経過	5
3	研究の実際と活動報告	6
	(1) 平成27年度 第1回租税教室「租税教育学習」	6
	第1回租税教室実施計画(案)	7
	(2) 平成27年度 第2回租税教室 ～指宿法人会青年部会との取組～	8
	第2回租税教室実施計画(案)	10
	2015年度 租税教室実施計画概要	11
	(3) 平成28年度 租税教室 ～指宿法人会青年部会との取組～	12
	平成28年度租税教室	15
	2016年度 租税教室実施計画概要	16
	(4) 平成28年度 租税教室を終えて ～税の使い道の提言書～	17
	南日本新聞(2016/8/31), 指宿広報誌「いぶすき」より	18
4	研究の成果と課題	19
5	おわりに	20

## 1 はじめに

### (1) 指宿市立西指宿中学校の概要

指宿市は、薩摩半島の最南端、鹿児島湾口に位置する人口 41,597 人（平成 28 年 9 月現在）、面積 149.01 平方キロメートルの市である。東は錦江湾を隔てて大隅半島と対峙し、北は県都・鹿児島市、西は畑作地帯が広がる南九州市と隣接している。南は東シナ海に臨み、明媚な風光を誇っている。中央部には九州一の大きさを誇る池田湖、南西部には標高 924 メートルの薩摩富士の別名で呼ばれる開聞岳、南部には南国ムード漂う長崎鼻、東部には潮の干満で陸続きになる環境省のかおり風景百選に認定された知林ヶ島を有している。市の全域を霧島火山脈が縦断しており、世界に類を見ない「天然砂むし温泉」をはじめ、豊富に湧出する温泉に恵まれている。さらに、市内には橋牟礼川遺跡や水迫遺跡に代表される歴史的にも貴重な発見のあった遺跡が多くある。年間平均気温は、暖流の影響で約 19 度と高く、温暖で亜熱帯的な気候のため、市内にはソテツが自生し、熱帯蝶のツマベニチョウが乱舞する北限の地とも言われている。



本校は、指宿市の北西部に位置し、生徒は今和泉小学校と池田小学校の 2 つの小学校から入学してくる。校区には今和泉海岸や岩本漁港、九州最大の湖である池田湖があり、校区が広いため、生徒全体の約 80% が自転車通学生である。



保護者や地域住民の多くは、促成栽培・観葉植物栽培等を基幹とする農業従事者が比較的多い。保護者や地域住民の価値観は多様化しているが、学校教育への関心は高く、PTA 活動、学校行事等には積極的に参加していただき、支援態勢や青少年健全育成を積極的に図る良き土壌が培われている。

### (2) 学校・生徒の実態

今年度の生徒数は、1 年生 34 名、2 年生 27 名、3 年生 19 名の計 80 名である。「礼節・向学・気魄」の校訓のもと、「礼を正し、場を清め、時を守る」を生活の指針として、「何事にも全力・真剣・本気で取り組む」をモットーとして、教師・生徒一丸となって日々さまざまな活動に取り組んでいる。明るく素直な生徒が多く、あいさつは立ち止まって大きな声であることを大事に指導を継続し、「あいさつの良い学校」として地域の方々からも高評価を得ている。また、生徒会活動もさかんで青少年赤十字活動、「いじめ撲滅宣言」の推進をはじめ、学習習慣として、1 分前着席チャイム黙想、無言自主作業の徹底など、各教科の授業や学級での活動、学校行事にも積極的に取り組む様子が見られる。



## 2 研究の概要

### (1) 研究主題

租税教育を通して、税制や財政についての正しい知識と理解を深め、税に関心を持ちも社会に貢献する生徒を育成する。

### (2) 主題設定の理由

鹿児島県の租税教育は、「租税に関連した事項を通して郷土について関心を高め、公民としての資質を身につけ、国家および社会における権利と義務の主体者として、自主的に判断し行動するための諸能力を育てる」ことをねらいとしている。

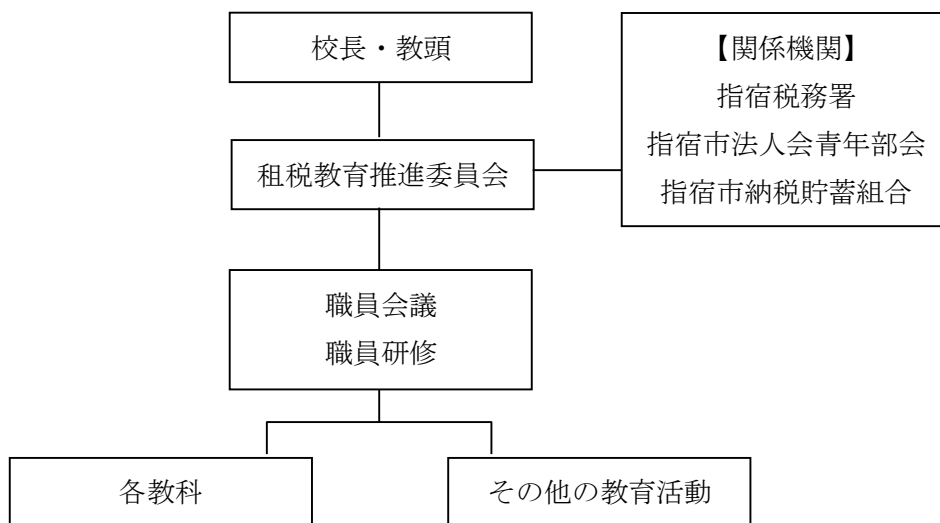
租税教育が目指すものは、租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考える生徒を育てることである。

これまで本校では、社会科公民的分野の学習で納税の義務について学習する第3学年を対象に租税教室を実施してきた。また、全学年を対象としては、「税に関する作文」及び「税に関する絵はがき」に応募し、意識を高める活動をしてきた。しかし、公民的資質を高めていくことは中学3年生のみならず、1・2年生の段階からにおいても大切であると考えた。全学年を通して、身近な生活の中にある税を意識させ、税の意義や役割を正しく認識し、税に関して興味関心を深め、様々な税がどのように使われてこの社会が成り立っているのかを調べ、自らが社会に貢献しようとする態度を育てることを目指し、主題を設定した。

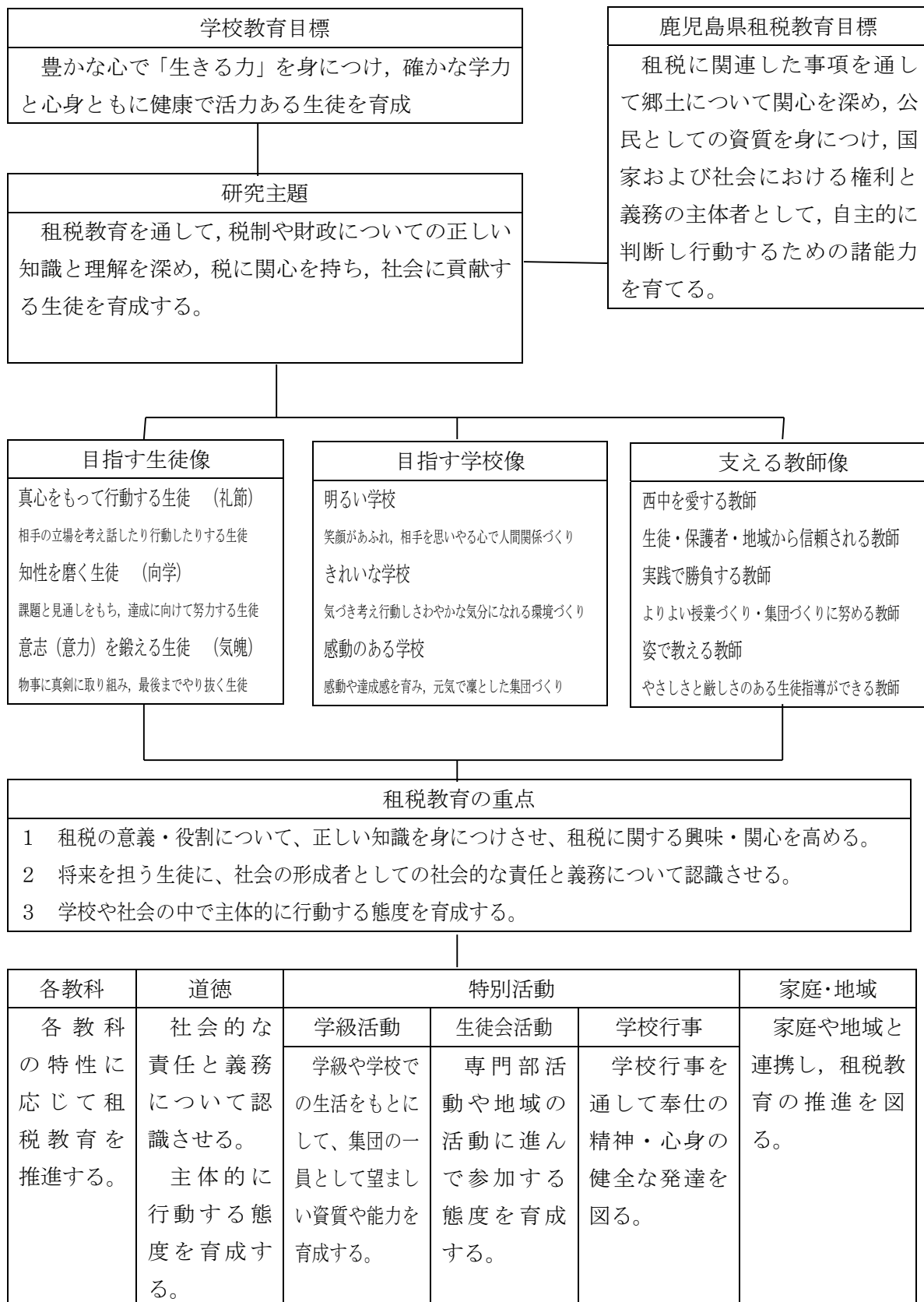
### (3) 研究の目標

- ① 税に関する興味・関心を高める。
- ② 税の意義や役割を正しく認識し、理解させる。
- ③ 様々な税について調べ、発表させる。
- ④ 社会の一員として主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。

### (4) 研究組織



(5) 租税教育の全体計画



(6) 研究の経過

1年目

4月	
5月	研究委嘱を受ける
6月	研究主題・計画の決定 担当教員の研修 租税教室の打ち合わせ (西指宿中学校にて) 平成27年度 第1回租税教室の開催(講師 指宿税務署 西山様)
7月	学期の反省 税に関する作品への応募
8月	税に関する作品の審査 担当職員の研修
9月	税の作品への出品 租税教室の打ち合わせ
10月	平成27年度 第2回 租税教室の実施に向けて (指宿税務署, 法人会担当者様との電話等での連絡・準備)
11月	租税教室の打ち合わせ (西指宿中学校にて)
12月	第2回 租税教室の実施 (指宿法人会青年部会の方々) 学期の反省
1月	研究主題・計画, 研究方法の検討
2月	
3月	初年度の反省

2年目

4月	本年度の計画策定
5月	平成28年度 租税教室の打ち合わせ (西指宿中学校にて)
6月	平成28年度 租税教室の実施 (指宿法人会青年部会の方々) 担当教員の研修
7月	学期の反省 税に関する作品への応募
8月	税に関する作品の審査 担当職員の研修
9月	税に関する作品への出品
10月	租税教育研究会準備
11月	租税教育研究会での発表
12月	学期の反省
1月	研究委嘱成果のとりまとめ
2月	研究委嘱成果のとりまとめ
3月	2年目の反省

### 3 研究の実際と活動報告

#### (1) 第1回租税教室

平成27年6月29日(月)4校時に社会科の時間として租税教室を行った。対象は全校生徒(74名)で、本校武道館を使用した。

第1回目の目標は、税に関する知識を深め、税の負担者としての自覚を持つとともに、私たち国民が安心して豊かな生活を送るためには税金が必要であることを生徒に認識させることとした。そのために、税の種類やその使われ方、DVD「アナザーワールド」の視聴を通して、個々の生活に密着した身近なところから税への関心を持たせようと考えた。(詳しい概要はP7)



全校生徒が講話を聞く様子



税の種類について質問している様子



税に関するDVD視聴と講話の様子



熱心に講話されている様子

例年3年生のみを対象に12月に実施していた租税教室を今年度から夏休み前に全校生徒を対象に実施した。その理由は、各学年の早期に租税への興味・関心を高めさせるということと、夏休みに実施する「税に関する作品の募集」の学習に生かすことができるのではないかという考えからであった。

時期を夏休み前に実施したことにより、税に関する作文、税に関する絵はがきも入賞者が多数出るとともに、生徒自身も作品への取りかかりがしやすいという声もあった。

## 第1回租税教室実施計画（案）

- 1 ねらい  
税に携わる方の講話を聞くことにより、税に関する知識を深め、税の負担者としての自覚を持たせる。
- 2 日 時  
平成27年6月29日（月曜日）  
4校時（11：45～12：35）
- 3 場 所  
武道館
- 4 講 師  
指宿税務署 西山大輔氏（租税教育学習実施日一週間前に打ち合わせ予定）
- 5 参加生徒  
全校生徒 74名
- 6 内 容 （予定）
  - (1) あいさつ
  - (2) 講師紹介
  - (3) 租税教育学習
    - ① DVD視聴
    - ② 講話
  - (4) お礼の言葉
  - (5) あいさつ
- 7 準備するもの
  - ・ テレビ、DVDレコーダー、パソコン、プロジェクター、スクリーン



(1) 第2回租税教室 (指宿法人会青年部会のみなさんとの取組)

平成27年12月1日(火)4校時に社会科の時間として租税教室を行った。対象は全校生徒(74名)で、本校武道館を使用した。

第1回目のテーマは、「消費税10%へ賛成or反対」と題して、生徒にとって一番興味関心の高いと思われる消費税を題材として、私たち国民が安心して豊かな生活を送るためには税金が必要であることを生徒に認識させることとした。(概要はP10~11)



指宿法人会青年部会代表の挨拶の様子



ファーストインプレッションの様子



税に関するクイズの出題の様子



クイズの答える生徒の様子



グループディスカッションの様子



各グループ代表の発表の様子

前半、まずファーストインプレッションで「消費税 10%へ 賛成 or 反対」のどちらかにシールを貼ってもらった。その後、クイズを通して消費税について説明するため、全員で学ぶ参加型授業という位置づけにし、生徒の関心を惹きつけながら、4つの四択クイズを実施し、カードを使って生徒が意思表示できる方法をとった。

後半は、グループディスカッションを実施し、クイズを通して「消費税 10%へ 賛成 or 反対」のどちらの立場か再度確認し、グループ内でなぜ賛成か、反対かをそれぞれ討議し、その結果を理由をそえて、グループごとに発表した。

生徒の感想より

- ・「増税」と聞くとよくないイメージを持つ人が多いと思います。しかし、自分たちの暮らしが豊かになったり、便利に感じるものが多くなると思うのでとても大切だと思います。まだ、わからないことが多いですが税金の使い道について知ってみたいです。
- ・私自身は消費税10%の値上げに反対だったけど班のみんなで話し合っているうちに意見も変わってきて賛成の方が多くなりました。消費税の値上げにより物の値段が高くなるなど困るなあと思っていたけど国のためや医療費などしっかりと納めていくことが大事だなと感じました。税はなくてはならないものだと実感しました。

### (3) 表彰式



税に関する作文の表彰の様子



学校賞の表彰の様子

記念撮影の様子

平成27年10月25日  
西指宿中学校 社会科

## 第2回租税教室実施計画（案）

### 1 ねらい

税に携わる方の講話を聞くことにより、税に関する知識を深め、税の負担者としての自覚を持たせる。

### 2 日 時

平成27年12月1日（火曜日）

4校時（11:35～12:35）

- ① 租税教室（11:35～12:25）
- ② 表彰式（12:25～12:35）
- ③ 校長室で写真撮影（受賞者のみ）

### 3 場 所

武道館

### 4 講 師

指宿法人会 青年部会 代表 米永負嗣さん（米永書店） 他複数

### 5 参加生徒

1～3年生 74名

### 6 内 容 （予定）

- (1) あいさつ
- (2) 講師紹介
- (3) 租税教室 別紙プリント参照
- (4) お礼の言葉（3年 吉留さん）
- (5) あいさつ
- (6) 表彰式 \*進行は指宿税務署の西山さん

表彰者 志水杏吏，上迫果奈，西中川葉月，岸下亜樹，井上和泉，  
学校賞として（校長）

計6名

### 7 準備するもの 別紙プリント参照 他スタンドマイク，学習机1台等

- ・ スクリーン，DVDレコーダー，パソコン，プロジェクター等

## 2015 年度 租税教室開催概要

2015 年 11 月 24 日

公益社団法人 指宿法人会 青年部会

【目的】 私たち国民が安心して豊かな生活を送るためには税金が必要であるということを生徒に認識してもらうことをテーマとし、日々の生活で一番身近で関心のある消費税について考える時間を共有することで、税への関心を抱くことを目的とする。

【日時】 2015 年 12 月 1 日 (火) 4 時間目(11:35~12:35) 60 分(教室 50 分+表彰式 10 分)

【対象者】 西指宿中学校 全生徒 (1 年~3 年、全 3 クラス) 74 名

【場所】 西指宿中学校 武道館

【担当】 指宿法人会 青年部会 学校：西指宿中学校 社会科部 北教諭

【協力】 指宿税務署

【準備】 プロジェクター、スクリーン、パソコン、音響設備 (おとやプロジェクト)

【内容】 今年度 6 月、指宿税務署が開催した租税教室の流れを引き継ぎ、日常生活と税の関わり合いや、増税を控えた消費税について考える。

11:35~11:40 オープニング (挨拶、紹介、本日の流れ、説明)

11:40~11:55 4 択クイズ (全員個人参加)

→クイズを通して消費税について説明

- ・歴史…消費税が導入、増税された経緯等
- ・国家予算…国の歳入の中の消費税
- ・身近な税…教育との関わり
- ・世界状況…各国の税率と生活環境

専門家補足説明 (指宿税務署員)

11:55~12:10 グループディスカッション

→テーマ「消費税 10%へ 賛成 or 反対」

12:10~12:20 代表発表 (進行状況を見て発表者数を判断)

12:20~12:25 クロージング (総評、挨拶)

12:25~12:35 表彰式

[POINT] ・テーマの答えはない

【特記事項】 <学校への事前依頼事項>

- ① グループ分け (全体で 8 グループ) …済
- ② 撮影、及び生徒へのインタビュー (1 年: 2 名、2 年: 2 名)
- ③ スクリーン (1800×1800) の貸出
- ④ 音響 (おとやプロジェクト) 会場入り 9:00~ 撤収 13:30 予定

<税務署への事前依頼事項>

- ① 挨拶及びレクチャー (入校時間: 11 時)
- ② グループワークへ参加 (2 名)

(3) 平成28年度租税教室 (指宿法人会青年部会のみなさんとの取組)

平成28年6月29日(水)5校時、第1回と同じく社会科の時間として租税教室を実施した。対象は、全校生徒(79名)である。

昨年度は6月末と12月初めの2回にわたり、租税教室を2回実施したが、今年度は夏休み前の税に関する作品募集の学習に生かせるという点と、学年の早期の段階から租税学習をすすめておき、社会科等の年間の学習にも生かしていきたいという観点から6月末に実施することとした。

今回の目標は、税の使われ方を社会保障、公共事業、教育関連、地方交付の4つの分野における課題と現状を踏まえ、生徒がどの分野を優先すべきかを考え、議論することにより税に対する興味・関心を抱くことを目的としている。さらに、税の使い道について主体的に考え、中学生として、税の使い道を考えを提言書としてまとめ、発信できる力も身につけさせていきたいと考えている。



指宿法人会の代表挨拶の様子



全校生徒が説明を聞いている様子



○各グループごとにファーストインスピレーションで、自分自身が税の使い道として最も優先すべき分野を選び、広幅用紙にマークしている様子



公共事業大臣の主張の様子



地方交付大臣の主張の様子

○指宿法人会青年部会の方々4名が各大臣として、それぞれの立場から大切さを主張する。

このあと、各大臣の主張を聞いて、再度各グループごとに議論をする。

ファーストインスピレーションの考えとこの主張を聞いてどう考えたかを議論するとともに、各グループの1人1人が自分はなぜこの分野を優先するかを議論しあう。



○ グループごとにファーストインスピレーションと、主張を聞いた後で何か考えの変化がなかったか、どのような内容を優先すべきかを議論し合っている様子



生徒1人1人が自分の意見を付箋用紙に書いて貼り、グループ内で意見を集約し、最も優先すべきと考えたものを理由をそえて発表している様子



地方交付を優先する班の発表の様子



公共事業を優先する班の発表の様子

最も多かったのは公共事業であった。理由は熊本での地震後であったため、税金を被災された人々の復興のために使って欲しいという気持ちが多かったためである。次に多かったのは高齢者の増加にともない社会保障を充実させてほしいという意見であった。あと一グループずつ公共事業と教育関連であった。公共事業は交番の減少による防犯対策の充実、教育関連はクーラーの設置、教育機器関連の充実を求めていることであった。

#### 生徒の感想

・4つのテーマで考えましたが、どれも大切なのでどのテーマにするか悩みました。地方交付という言葉は初めて聞きました。4人の大臣の話はとてもわかりやすかったし、大臣という設定がとても面白かったです。私は最初、社会保障を選びましたが、同じ班の人の話を聞いたりして、公共事業や教育関連も大切だなと思いました。私たちの身近なものでしたがいろいろな税のことについてもっと知りたいと思いました。

・自分は税に関して、今日まであまり深く考えていなかったような気がしました。でも、今日の授業で税がいかに大切でどれほど必要であるか改めて考えることができました。社会保障や公共事業に使われる税金を支払うときはこのことを思い出そうと思います。

・4つの税（地方交付、教育関連、公共事業、社会保障）のことについてグループで話し合っ、考え学ぶことができ良かったです。個人的には公共事業が大切だと思いました。でも、4つとも大切だと思いました。これからしっかり納税したいと思います。税金についてもっと興味をもっていきたいです。

・私は税のことをあまりわからず、面倒くさいものだと思っていました。だけど、公共事業や社会保障など、自分たちの日頃の生活にかかせないものばかりで、やっぱり大切なんだなあと思いました。私も大人になったらしっかり納めようと思いました。

・私は最初税金とは何か全然わかりませんでした。でも今日の授業で税金は学校の教科書や病気の人たちなどに使われていることがわかりました。最初は税金なんて払うのは面倒くさいと思っていたけれど、もし税金を払わなかったら病気になったとき、自分の負担が大きくなってしまったり、道路が壊れてもそのままになっていたりして、自分たちに負担がかかることがわかりました。もっと税金について知りたいと思いました。

平成28年6月8日  
西指宿中学校 社会科

## 平成28年度「租税教室」実施計画（案）

### 1 ねらい

税に携わる方の講話を聞くことにより、税に関する知識を深め、税の負担者としての自覚を持たせる。

### 2 日 時

\*当日は6校時はB校時の時間帯で終了

平成28年6月29日（水曜日）

5校時（14：15～15：15 60分間）

租税教室（指宿法人会が中心となって授業 指宿税務署来校）

6校時（15：25～15：45 20分間）

感想の記入（感想記入後は学級活動）

### 3 場 所

武道館

### 4 講 師

指宿法人会 青年部会 代表 米永負嗣氏 他数名

### 5 参加生徒

1～3年生 80名

### 6 内 容 （予定）

- (1) あいさつ
- (2) 講師紹介
- (3) 租税教室 別紙プリント参照
- (4) お礼の言葉（生徒会長）
- (5) あいさつ

### 7 準備するもの スタンドマイク，学習机1台等

- ・ スクリーン，DVDレコーダー，パソコン，プロジェクター等



## 2016 年度 租税教室開催概要

2016 年 6 月 7 日

公益社団法人 指宿法人会 青年部会

【目的】 大切に集められた税の使われ方を、各分野における課題と現状を踏まえ、生徒自らが考え、優先すべきことを自ら決めることをテーマとし、税への関心を抱くことを目的とする。

【日時】 2016 年 6 月 29 日 (水) 5 時間目(14:15~15:05) 50 分

【対象者】 西指宿中学校 全生徒 (1 年~3 年、全 3 クラス) 80 名

【場所】 西指宿中学校 武道館

【担当】 指宿法人会 青年部会 学校：西指宿中学校 社会科部 北教諭

【協力】 指宿税務署

【準備】 プロジェクター、スクリーン、パソコン、音響設備 (おとやプロジェクト)

【内容】

- 14:15~14:20 法人会青年部長挨拶
- 14:20~14:25 税務署挨拶
- 14:25~14:30 税の使われ方 (現状と課題) 4 テーマの説明  
ファーストインスピレーション 個人の意見 マーク
- 14:30~14:40 各大臣による主張 (各 2 分)
- 14:40~14:50 グループ意見集約
- 14:50~15:00 発表
- 15:00~15:05 総括

- 【テーマ】
- A: 社会保障 医療、年金、福祉、介護、生活保護
  - B: 公共事業 道路、下水道、公園、河川、海岸整備
  - C: 教育関連 授業料、教科書代、学校の校舎改築、先生の給与
  - D: 地方交付 都道府県や市町村の運営費

【ポイント】

- ① 税の使われ方の中で、今回は 4 つのテーマを選定し、その中でどのテーマが、現在の中学生にとって重要と捉えているかを授業を通じて考える。
- ② 個人意見と、授業・グループディスカッションを通じての気づきの変化を探る。
- ③ 各大臣による演説を交え、更に掘り下げたレベルでの学習を図る。
- ④ 4 人の大臣で担当するため、生徒達の飽きを感じさせないようにする。
- ⑤ 生徒達がまとめた内容を、後日税務署へ提言書として届ける。

【連絡事項】

・学校側～事前にグループ分けを依頼と筆記用具の準備。

発表者、インタビュー者の手配

・税務署～冒頭挨拶 (約 3~5 分) と、グループディスカッションへのサポート。

(準備品)・模造紙 (10 枚) ・マークシール (100 枚) ・付箋紙 ・セロテープ

(4) 平成28年度租税教室を終えて(税の使い道の提言書)

租税教室終了後、各学年の社会科の授業で感想とともに、「税の使い道」についてみんなの考えを学級で話し合いまとめる活動をおこなった。各学年で集約し、生徒会でまとめた内容は次のとおりである。

- |      |   |  |
|------|---|--|
| 社会保障 | ～ | ○どの税金が年金のために使われているのか使い道をはっきりわかりやすく教えてほしい。<br>(使い道がわかれば税も納めやすい気持ちになるから) |
| 公共事業 | ～ | ○「いぶすき菜の花館」の有効な活用法<br>○WiFi環境の拡大整備(池田湖周辺までの整備)<br>○観光を意識した歩道や道路の整備     |
| 教育関連 | ～ | ○公務員数の削減, 給料の見直し<br>(税金の無駄をなくしてほしい)<br>○クーラーの設置(学習しやすい環境の整備を!)         |
| 地方交付 | ～ | ○交番が減っているのを元のように設置してほしい<br>○救急車や消防車両等の整備                               |

この内容をまとめたものをいぶすき法人会青年部会の方と確認, 打ち合わせをし, 指宿市長へこの内容をまとめたものを提言書として提出した。指宿法人会青年部会の方々が段取りをしてくださり, 提言書提出が実現できることにつながった。



市役所会議室にて



生徒会長より提言書を読み上げ, 市長へ提出



指宿市長と生徒会役員で記念写真



市長と真剣な表情で談話する生徒会役員



提言書を読み上げる西指宿中学校生徒会の上迫千夏会長  
 豊留市長

## 西指宿中 給料見直し、WiFi拡大… 生徒会が税の使途提言

公務員の数と給料見直し、池田湖周辺までWiFi(ワイファイ無線LAN)環境を拡大して。指宿市の西指宿中学校生徒会が23日、自分たちが考えた税金の使い道を市に提言した。

同校で6月、指宿税務署や指宿法人会が全校生徒80人を対象に開いた「租税教室」がきっかけ。社会保険や公共事業、教育関連、地方交付金の4分野で税金の使われ方の現状や課題を学び、8班に分かれて優先すべき使い道を考えて。

「中学生の声を社会に届けよう」と、生徒会が意見を集約した。提言書には「どの税金が年金のために使われているのか、分りやすく教えて」「教室にクーラーを設置して」など4分野8項目の生の声が並ぶ。

生徒会役員4人が23日、豊留市長を訪ね、3年の上迫千夏会長が提言書を渡した。副会長の蔵園大雅(かみぞの)さんは「自分たちのまちは考えるいい機会になった。提言が指宿の発展につながるれば」と期待した。

豊留市長は「若い感性の貴重な報告。市政に生かせるよう努力したい」と話した。

(上飯屋美佳)

「いぶすき」(指宿市広報誌10月号)より

### 西指宿中生徒会が税の使い道を提言 中学生の声を社会に届けたい

西指宿中の生徒会役員4人が8月23日、豊留市長を訪れ、「税の使い道の提言書」を手渡しました。同校で6月に行われた租税教室がきっかけで「税を何に使ったらいいのか、自分たちの声を社会に届けたい」と、生徒たちの意見を生徒会が集約。上迫千夏(かみぞの)会長(永吉)が「Wi-Fiの整備を拡大して」「教室にクーラーを設置して」などの提言を読み上げました。豊留市長は「皆さんとの意見交換でパワーをもらった。これからの市政に生かしたい」と話しました。



上迫(右から2番目)さんは「提案が実現してほしい」と話しました

#### 4 研究の成果と課題

今回の租税教育研究にあたって、指宿地区租税教育推進協議会、指宿税務署、指宿法人会青年部会の方々の指導と協力をいただき、租税教室を実施することができた。生徒たちの税に関する興味・関心を高め、税の意義や役割を正しく認識し、理解を深めさせることができたと考えている。

特に今回の2カ年に及ぶ研究では、

- ① これまで毎年12月の3年生の公民科学習の「租税」に関する社会科の学習をする時に合わせて実施していた租税教室を全校生徒で実施することに切り替えた。
- ② 実施時期を夏休み前の時期に行うことで夏休みの税に関する作品募集の出品に生かすことができた。
- ③ これまで租税教室を受けるという受け身の学習形態から、租税学習を受けて、生徒自らが主体的に考え、自分たちの考えを発信していく学習形態を実現できた。

以上3つの点から大きな成果を得ることができた。今回の学習を通して、税を国民のために役立ててほしいという生徒たちの願いがあることがよく伝わった。また、このように国民のために税を使うためには、税をきちんと納めなければその税を国民のために使うこともできない、つまり納税者として税を納めることは大切なことだという将来の納税者としての意識も高めることができたのではないかと考える。

今後、本校において、租税学習をより発展的に行っていくためには、今年度実施してきた「6月末に租税教室を行う」ことを継続していくことであると考えている。その理由は、生徒たちが「税に関する作品募集」の学習に自主的主体的に夏休みを活用して学習することができるからである。そのためには、租税学習をこの時期に実施していくことが大切であると考えている。6～7月は税務署をはじめ、各関係機関の方々も大変忙しい時期ではあるが、早くから打ち合わせや連携を行うことで実現可能であると考えている。そして、生徒が租税学習を受けるだけでなく、自分たちの考えを提言していくことも継続していきたい。この時期に実施することで7月中旬に意見をまとめ、夏休み中に各関係機関へ文書を送付したり、提言書を提出できたりできると考えるからである。さらに、二学期以降の各教科・領域の特性に応じた、学校における日頃の子どもたちへの指導へも生かすことができると考える。

2か年にわたる租税教育研究の取り組みを通して、税に関する学習は3年生の公民的分野の社会科を中心に行っていたが、各学年問わず、さらに教科や領域をまたがって実施していくべきものであることを学ぶことができた。税を身近なものとして生徒たちがとらえ、学習のさまざまな場面で意識することができるようになってきている。今後も税に関する作品の応募や租税教室を通して、社会科だけでなく、教科の内容にまで踏み込んだ形での租税教育のあり方も本校においても更に研究していく必要があると考えている。

## 5 おわりに

2年間にわたり、租税教育研究委嘱校として、「租税教育を通して、税制や財政についての正しい知識と理解を深め、税に関する興味・関心を高めるとともに、社会の一員として主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を育成する」を研究主題として取り組んできた。このような機会を与えて下さった鹿児島県租税教育研究推進協議会、指宿地区租税教育推進協議会、指宿税務署、指宿法人会青年部会そのほか関係者の皆様には、懇切丁寧な指導と協力をいただき心から感謝している。

今後もこれまでの取り組みを生かし、租税教育を更に推進していく所存である。



指宿市長部局，指宿地区租税教育推進協議会，指宿税務署，指宿法人会青年部会，  
本校生徒会 全体写真